

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、20～24℃台を示し、やや高め～かなり高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――月夜間とシケで出漁日数は少なかった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり15トンの水揚げで、前週の1.4倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり19トンの水揚げで、前週の1.6倍（前年並み）。
- イカ釣――月夜間とシケで出漁日数は少なかった。スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり1kgの水揚げで、前週の7%。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり17kgの水揚げで、前週の29%（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり464kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり100kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ブリなどが1日1統当たり311kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり233kgの水揚げで、前週の70%（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（11/14～11/19の6日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、大和堆付近で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、対馬及び山口沖～山陰沖で月夜、時化で出漁船僅か。

鳥取県西部（沖合船）1日延2隻、総計67箱、1航海最高56箱、平均33.5箱。スルメイカを漁獲、魚体は（20～30入）。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>